

1. 研究会名

IS技術者のためのpsytech研究会

2. 研究テーマ

IS技術者のためのpsytech

3. 主査（氏名、所属、連絡先メールアドレス）

三村 和子 臨床心理士(2017/4/1～)・カウンセラー kz_mimura@song.ocn.ne.jp

4. 幹事（氏名、所属、連絡先メールアドレス）

伊藤重隆、元みずほ情報総研、shigetaka-i@nifty.com

魚田勝臣、専修大学名誉教授、uota@isc.senshu-u.ac.jp

芳賀正憲、コスモロジック、cqal2715@nifty.com

※メールアドレスの@は@に置き換えて下さい

5. 研究テーマ設置の趣旨

IS技術者を取り巻く環境はグローバル化、情報化などを背景に厳しさを増してきている。IS技術者の心理的な状態が業務の成果に影響すると考えられることから、心理的ストレスへの対処がプロジェクト運営上重要と考えられる。本研究会では、IS技術者を対象とした心理的支援(psytech^{*1})について、プロジェクトマネジメントを構成するプロセスの1つである「メンタル・プロセス・マネジメント」^(*2)のための情報システムモデルを検討する。特に、実際のプロジェクト運営におけるコミュニケーション、認知に焦点を当てて分析する。これにより、予防型メンタルヘルスの観点からIS技術者のwell-being（精神的健康）を実現することを目指す。

*1)psytech（サイテック）とは：IT技術を使った新たな心理的支援。心理学を意味する“psychology”と、技術を意味する“technology”を組み合わせた造語

*2)メンタル・プロセス・マネジメント：「新情報システム学序説 情報システム学会新情報システム学体系調査研究委員会編」において、プロジェクトマネジメントの機能、役割を構成するプロセスとして、従来の「プロジェクトマネジメント・プロセス」および「ソフトウェア・エンジニアリング・プロセス」に加えて、「プロジェクト・メンタル・プロセス」が重要であると示されている。

6. 主たる活動場所

検討中

7. 活動計画（概要）

1年目：1）臨床心理学専門家を招いた講演会：psytechによる心理的支援について

2）psytechによる心理的支援のための情報システムモデルの検討

2年目：IS技術者を対象とした心理的支援としてのpsytechモデルの検討